



消防団
Volunteer Fire Department

6つの分団で組織され、火災の消火活動から各種訓練、地域での防火防災の啓発活動など尾張旭の消防を支えています。



地域消防防災施設 ほんまる
Honmaru, the local disaster prevention facility



各分団に消防ポンプ車を配備
Fire engine equipped at each subgroup

INTERVIEW

地域の安全・安心を守る!

近年、全国各地で災害が多くなり、被災地で消防団員が活動しているニュースを目にする機会が増え、災害を身近に感じて生活するようになりました。春と秋の火災予防週間と年末には、消防車に乗り、市内を巡視しながら防火広報を行っています。コロナ禍となった今は、感染拡大防止に関する広報なども実施

しています。地元を災害から守り、人の命を守ることを第一に、日々訓練と消防活動に取り組んでいます。



PROFILE

消防団
いわはし ひろき
岩橋広紀さん
Volunteer Fire Department
Hiroki Iwahashi

元消防団長だった親族の姿を見て育ち、幼少期から消防団に興味があり入団しました。

市民の支えあいで 消防・救急体制を充実
尾張旭市では、市民が互いの命を守りあう安全・安心なまちづくりを進めています。高齢化にともなう救急需要の増加に対応するため、市内全てのコンビニエンスストアにAEDが設置されるなど、いつでも誰でもAEDが使える環境が整い、市民の救命ボランティアが活躍しています。地域に根差す消防団には性別・年齢を問わない幅広い層の市民が参加し、仕事や家庭、学業と両立しながら防災活動に取り組んでいます。

Enhancing the system for firefighting and emergency through the mutual support of citizens

Owariasahi City promotes the building of a safe, secure community where residents protect each other. AEDs are installed at all convenience stores within the city, and lifesaving volunteers are actively engaged. Moreover, citizens in a wide age range volunteer to help at the fire department to work on disaster prevention activities.

婦人消防クラブ
Women's Fire Club

市内6つの地区で組織され、初期消火活動や応急処置の訓練、防火啓発活動に取り組んでいます。



少年少女消防団
Boys and Girls Fire Club

市内の小学5年生から高校生までが在団し、防災訓練などの活動を通じて命や暮らしを守ることの大切さを学んでいます。



あさぴーと学ぶ!
救命ボランティアのしくみ

- 1. 傷病者発生**
119番通報
心肺停止の傷病者が発生したら周囲にいる人は直ちに119番通報します。
- 2. 「救助指令」発信**
通報を受信した消防指令センターは、アプリを通じて救助指令を送信します。
- 3. 「救助指令」受信**
救命ボランティアは配信された救助指令をスマートフォンのアプリで受信します。
- 4. AED施設が表示**
応答するとアプリ画面に心肺停止発生現場と付近のAED設置施設が表示されます。
- 5. AEDを取りに急行**
AEDを取りに行き、現場までアプリ画面のナビゲーションに従って急行します。
- 6. 現場で応急手当**
心肺停止の傷病者にAEDを使用するなど救急隊が来るまで応急手当を行います。
- 7. 救急車到着**
消防指令センターが通報受信後すぐに手配した救急隊が傷病者を病院に搬送します。

市内全コンビニエンスストアにAEDを設置
AEDs installed at all convenience stores within the city

市内全てのコンビニエンスストアに設置されている他、一部公共施設に屋外設置するなどいつでも誰でもAEDが利用できる環境を整えています。



まちの健康を守る



**みんなが
安心して
暮らせるまちへ**

Protecting the health of citizens ourselves
To the city where everyone can live in peace

